

# 西大和つうしん

2018年11月号

No.437



霧に巻かれた正木ヶ原《2018.10.14大台ヶ原にて》

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

# 西大和つうしん

第437号 (2018年11月号)

## 【目次】

11・12 月度山行計画.....	2
11・12 月度カレンダー.....	3
山行・行事等参加メモ.....	4
山行報告	
・自主山行 《9/23》 鈴鹿山系 三池岳（亀高）.....	5
・自主山行 《9/27-10/4》 北海道山旅 大雪・羅臼・摩周・雌阿寒（島崎・永井・野路・中）.....	5
・例会山行 《10/14》 台高山脈 大台ヶ原・日出ヶ岳（中）.....	9
室内例会だより（9/26）.....	10

## 11月度山行計画

～奈良県と大阪府の県境にまたがる二上山を歩く～  
秋空の下、双耳峰の美しい山里をゆっくり歩きます

### 公開山行 例会山行1 金剛山地 《二上山》 517m

【日程】11月11日(日) (L橋本・SL林)

【集合】一般：近鉄南大阪線 二上山駅 午前9:00

会員：上牧役場前駐車場 午前8:30(上ノ池横登山口まで行く予定です)

【コース】二上山駅～(10)～上ノ池横登山口(香芝市畑配水タンク前)～(70)～雄岳517m～(20)～雌岳474m～(20)～鹿谷寺跡～展望台～万葉駐車場～ろくわたり道～(50)～二上山駅分岐～(60)～上ノ池横登山口

※ 歩行時間：約3時間50分(休憩含まず) 歩行距離：約10km

【留意点(一般参加者)】：HPにて広報済み

①持ち物：弁当・飲み物・雨具

②服装：低山ですが山道を歩きますので動きやすい服装、靴でご参加下さい。

③参加費：300円(保険料含む)

④申込み：メールにて事前に申し込んで下さい(申込み締切は10月31日、会長まで)。

⑤条件：年齢は70歳までの方。事故・負傷の場合は応急手当まで。それ以上は自己責任で。

⑥中止：降水確率が50%以上の場合は中止とし、前日19:00頃にHPでお知らせします。

【留意点(会員)】

①会員は一般参加者に積極的に声かけ戴き、会員獲得に繋げましょう。

②集合時につきましては、一般参加者の集合場所へは橋本が行きます。会員の対応につきましてはSLに従ってください。

～女人大峰の岩峰に登ろう!! 1月に新雪で撤退した自主山行のリベンジだ!!!～

### 例会山行2 大峰山脈 《稲村ヶ岳 1,726m・大日山 1,689m》

【日程】11月25日(日) (L亀高)

【集合】上牧役場前駐車場 6:00 発

【コース】母公堂～(1h)～法力峠～(1h10)～山上辻～(50)～大日山～(30)～稲村ヶ岳～(40)～山上辻～(50)～蓮華辻～(50)～覗谷出合～(25)～林道終点～(25)～清浄大橋

※ 歩行時間：約6.5時間

※ 清浄大橋に車をデポして母公堂から登る予定ですが、状況によっては、復路も法力峠経由のピストンとします

※ 帰りに洞川温泉での入浴を予定しています

## 12月度山行計画

～滝、露岩の急坂、稜線の登降、登山の魅力凝縮の宝塚の名峰へ～

### 例会山行1 北摂の山 《中山連山》

【日程】12月2日(日) (L船江)

【集合】JR王寺駅 7:30(7:40発に乗車)

【交通】王寺 7:40⇒8:20 大阪/阪急梅田 8:30⇒(宝塚線急行)⇒8:55 山本

【コース】阪急山本駅～(25)～最明寺滝～(30)～岩場～(40)～万願寺西山～(90)～中山最高峰～(25)～奥の院分岐～(25)～夫婦岩～(30)～中山寺～(5)～阪急中山観音駅

※ 歩行時間：約4.5時間

# 西大和山の会 カレンダー

11月		12月		
1	木	1	土	
2	金	2	日	例会山行1《中山連山》(船江)
3	土	3	月	
4	日	4	火	県連理事会
5	月	5	水	
6	火	6	木	県連理事会
7	水	7	金	
8	木	8	土	
9	金	9	日	
10	土	10	月	
11	日	11	火	公開山行・例会山行1《二上山》(橋本)
12	月	12	水	
13	火	13	木	
14	水	14	金	
15	木	15	土	
16	金	16	日	例会山行2《雨乞岳》(杉森)
17	土	17	月	西大和つうしん原稿締切
18	日	18	火	
19	月	19	水	
20	火	20	木	
21	水	21	金	西大和つうしん原稿締切
22	木	22	土	
23	金	23	日	12月度室内例会・忘年会
24	土	24	月	
25	日	25	火	例会山行2《稲村ヶ岳》(亀高)
26	月	26	水	
27	火	27	木	
28	水	28	金	11月度室内例会
29	木	29	土	
30	金	30	日	
		31	月	

## 山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)	10/31	11/11 例会 1	11/25 例会 2	12/2 例会 1			
		室内 例会	公開山行 二上山	稲村ヶ岳	中山連山			
1	(窪田)							
2	都築							
3	藤井							
4	(石田)							
5	田中悦							
6	島崎							
7	田中初							
8	村田							
9	林							
10	勝尾							
11	藤本							
12	杉村							
13	高橋							
14	玉越							
15	橋本		LO					
16	亀高			L◎				
17	船江				LO			
18	野路							
19	中							
20	杉森							
21	上田							
22	永井							
23	川田							
24	岩田							
25								
26								
27								
	合計							
	緊急 連絡先							

L:リーダー、○:参加、◎:車

※室内例会時点での参加予定であり、その後変更されることがあります。

# 山行報告

## 自主山行

## 鈴鹿山系 三池岳 972m

【日 程】9月23日(日) 晴れ

【参加者】L 島崎・SL 中・藤井・林・亀高(5名)

【コ-タイム】登山口(8:33)~八風峠・中峠分岐(9:34)~中峠(10:33)~八風峠(10:57)~三池岳(11:15/50 昼食)~福王山分岐(12:08,12:30)~登山口(13:40)

天候不順が続く日々で、この日だけは快晴の爽やかな秋空の山行日和だった。テント泊山行が予定されていたが中止となり、どこか山行したいと思っていたところに自主山行の知らせがあり、夏山以来1ヶ月以上山行から遠ざかって鈍った体には、972mの三池岳は丁度良いと思って参加したが、鈴鹿の山は低くても急峻だった。

登りは中峠・八風峠へと向かう谷筋で、幾度となく渡渉を繰り返す。大きな石がゴロゴロした河原はどこが登山道か分かりにくい、色あせた赤ペンキの○印を



補うように所々にケルンが高く積み上げられ、道標となっている。谷筋から離れ、中峠/八風峠の分岐を中峠方面へと進むと一段と急登となる。中峠に到着。うろこ雲は秋空であるものの、急な登りと日差しで暑い。中峠から八風峠・三池岳までは、伊勢湾を眺めながらの稜線歩きで、気持ちが良い。赤とんぼが乱舞している。

三池岳からは急峻な下りで、途中、誤って福王山方面に進んだ激下りと登攀の影響か、その後の下りで脚が攣ってしまった。北アルプスで4日間のロングトレイルでも攣ることはなかったのに、どうしたことか。暑くて半袖での山行だったが、9月とは言え日差しが強く、日焼けしたことと関係あるだろうか。(記:亀高茂)

\*\*\*\*\*

## 自主山行

## 北海道の山 秋の北海道山旅

大雪山系 (赤岳 2,078m・白雲岳 2,230m・黒岳 1,984m)・

羅臼岳 1,661m・摩周岳 857m・雌阿寒岳 1,499m

【日 程】9月27日(木)~10月4日(木)

【参加者】L 島崎・SL 野路・中・永井(計4名)

9月28日(金) 大雪山系 銀泉台~赤岳~白雲岳~黒岳 晴れ後曇り後小雨

【コ-タイム】朝陽亭(5:00)~銀泉台(5:50)~赤岳登山口(6:18)~赤岳(8:50)~白雲岳(10:18)~北海岳(12:10)~黒岳(14:07)~黒岳リフト場(15:13)~黒岳RW駅(16:00)



北海道山旅のスタート。層雲峡、朝陽亭から5時、タクシーで銀泉台まで、曇りの予報が晴れてきだした。登るに連れて、山麓は紅葉している。青空と雲海・紅葉と素晴らしい景色が展開し始める。見とれながら登る。岩場で鳴きウサギを発見。景色を楽しみながら、赤岳までは幾つかの登りを登って行く。赤岳到着。風が出始め、少し寒い。ここから白雲岳までは比較的緩やかな登りを行う。白雲岳到着。生憎、旭岳は雲に隠れていた。北海岳までは高原を歩く感じである。なだらかな丘を登る感じで到着。北海岳も展望は良くない。緩やかに下り、川を渡渉し、登り、最終ピークの黒岳到着。人が本当に少ない。前回、夏行っているが、沢山の人達で溢れていたが・・・。下り初めて曇りが降ってきたし、途中から雨に変わった。階段を下って、下って、やっとリフト場到着。雨も上がってきた。ここでは沢山の人達が来ていた。リフトを降り、RWに乗り継ぎ、無事下山する。



(記：島崎隆)

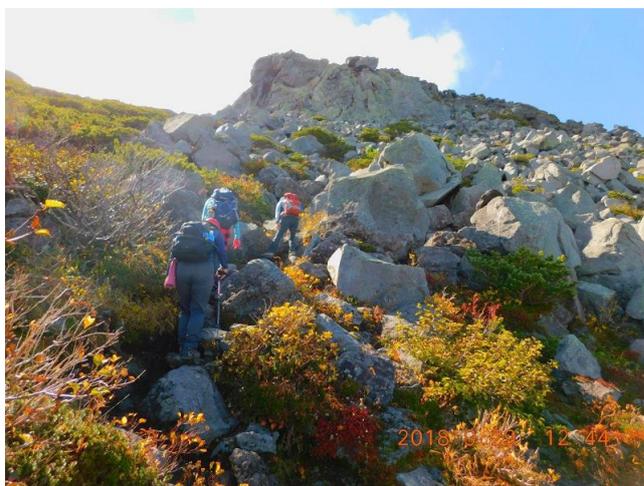
**9月29日(土) 羅臼岳 晴れ**

【J-タイム】 羅臼岳登山口(7:37)～オホーツク展望(8:08)～弥三吉水(9:06)～銀冷水(10:05)～羅臼平(11:08/52)～羅臼岳(12:45/13:00)～羅臼平(13:45)～銀冷水(14:33)～弥三吉水(15:30)～オホーツク展望(16:00)～羅臼岳登山口(16:25)



台風が近づいているため、急遽予定を変更して晴れの日の今日、羅臼岳に登ることになった。二時半に起床、層雲峡をあとにして四時間ひたすら車を飛ばし登山口に着く。登山開始 30 分ほどでオホーツク展望に着くが、白樺林に遮られて展望なし。給水ポイントの銀冷水を過ぎるとなだらかな極楽

平に着く。林の間から羅臼岳が見える。大沢の登りを終えると羅臼平到着。羅臼平では、真っ青な空を背に羅臼岳の雄姿を見ることができた。実に形がいい。昼食を終えていよいよ羅臼岳。ハイマツの中を登っていくと、視界が開けオホーツク海があざやかに見える。知床五湖も見える。頂上に近づくとつれ、岩が多くなってくる。岩に矢印が書かれてあり、それに沿って慎重に歩を進める。下を見るとソクソクする。頂上は狭く風が強い。記念写真を撮り下山になるが、下りのほうがスリルが味わえる。  
(記：永井章夫)



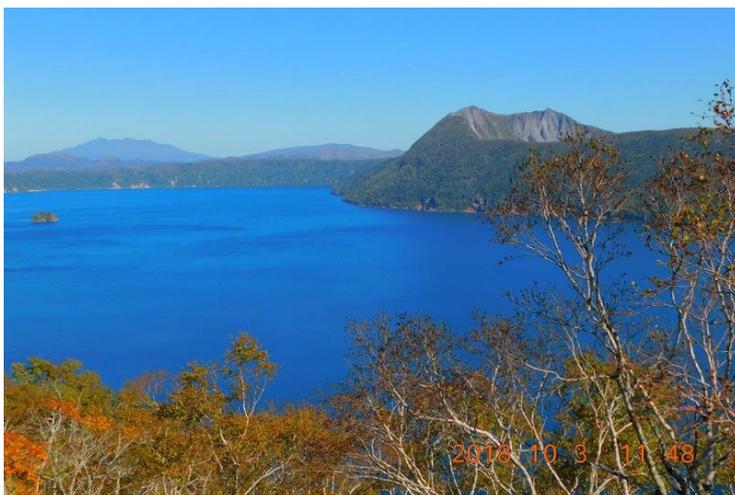
**9月30日(日) 摩周湖・摩周岳(857m) 観光 晴れ**

**【ｺｰｽﾀｲﾑ】** ウトロ温泉・夕日のあたる家(5:00)～第一展望台登山口(7:25)～摩周岳・西別岳分岐(9:25)～摩周岳山頂(10:10)～摩周岳・西別岳分岐(10:45/11:05)～第一展望台登山口(12:45) 観光／硫黄山(13:40) ⇒ オシンコシンの滝(15:15)



台風の影響により、前日の羅臼岳につづき摩周岳も予定を変更して1日早く登ることになった。予報は曇りとなっていたが少し晴れ間も出るのでは・・・と淡い期待をして行ってみたが、残念なことに「霧の摩周湖」と言われる通り、霧の中の登山となった。

第一展望台登山口からゆるやかな登山道がつづく。途中摩周湖や摩周湖の中の島もぼんやりと見えまさに「霧の摩周湖」の風景。笹道から白樺林となり霧の中「神秘的」な風景に変わっていく。摩周岳・西別岳分岐を北に進みしばらくすると、ゆるやかな道も終わり急登に変わる。木の根や、石を積んだよう



な階段がつづきやがて山頂に到着。山頂には一組のご夫婦がいらっしやるだけであった。山頂は岩場で、多分切り立った断崖であることは分かるが、霧のため何もみえなかった。本来ならここから『透明度は日本一』と言われている「青い青い摩周湖が見えるはず・・・」とても残念でした。

帰りは霧で濡れた急坂の階段を慎重にくんだり、また緩やかな登山道を帰る。最後まで「霧の摩周湖」でした。そのあと、硫黄山とオシンコシンの滝を観光して帰路に就く。

「青く透き通るような摩周湖」があきらめきれず、後日(10月3日)リーダーにお願いして、再度摩周湖を訪れました。「青い青い摩周湖」・・・感動でした!!後ろには摩周岳、中央には斜里岳・・・この景色が見たかった!!それだけで再び訪れた・・・

(記：野路政子)

## 10月3日(水) 雌阿寒岳 晴れ

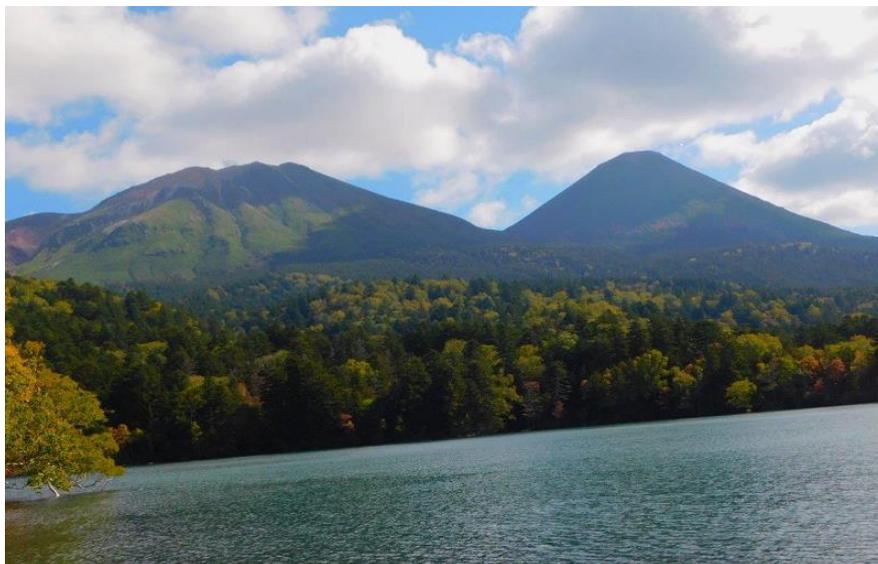
【3-夕仏】 雌阿寒岳温泉登山口(5:10)～5合目(6:30)～山頂下(7:40/8:00)～雌阿寒岳登山口(10:00)



昨日は霧雨で展望がなく明日を期待して途中から撤退し、本日は再アタックです。温泉登山口から、北海道の朝は早く、ヘッドランプを点けるほどではなく少し暗い登山道を上り始める。登山道はよく整備されていてテープ、ペインティングが短い間隔で示してありしっかりした山道で道迷いもなく快適に上る。ハイ松帯に出ると雲海が窪地や湖を隠していたが青空とどこまでも続く広大な原生林が見渡せるようになる。所どころ真っ赤なナナカマドが彩りを添えて美しく始まった紅葉が眺められた。

岩場に入り期待しながら九合目を越してもう少して山頂というところで絶えず吹く風速 20m? 以上はあると思える強風で進むことができなくなる。暫く待機することにしたが20分してもおさまらないので下山を決める。すこし下ると硫黄の煙とドロ池がすぐ下に見え迫力満点の山頂付近の体験ができました。わずかな距離を下ると風は穏やかになり雲海が晴れオンネトー湖がくっきりと見える、オンネトー湖を眺めながら下山する。

(記：中昌子)



【日 程】10月14日(日) 曇 時々 小雨

【参加者】CL 中・SL 藤井・SL 野路・島崎・村田・林・杉村・橋本・亀高・杉森・上田・岩田(12名)

【J-タイム】大台ヶ原駐車場(9:15)～日出ヶ岳(10:05/10:20)～正木峠(10:42)～正木ヶ原(11:10)～牛石ヶ原(11:50/12:24 昼食)～大蛇ヶ原(12:50/13:05)～シオカラ谷(13:55)～駐車場(14:55)

霧の中、雨具をつけての出発となりました。樹林帯をしばらく行くと日出ヶ岳への山道は、木で出来た階段を上ります。分岐に着くと展望台があり、晴れていれば海が望め、富士山も見える位置です。分岐に戻り、ここから百名山でもある日出ヶ岳の山頂目指し、階段を上ると少しで山頂に着きます。山頂には休憩所がありベンチで休めました。

分岐に戻って正木ヶ原を目指します。途中、シロヤシオの木々が美しく紅葉し、透明感のある赤で染まっていました。ブナの黄色も目立ちはじめ、大台ヶ原の秋を楽し



めました。正木ヶ原から牛石ヶ原へ向かう木道の両側は、枯れた立木と笹の原がつづきます。途中の案内板には、苔むした森の昔の写真の表示があり、現在との違いがよくわかります。所々に鹿よけのネットを幹にまいた木々が立ち並んだところもあり、人の力で復活し始めているようです。牛石ヶ原では気温も上がり風もなく、快適に昼食をとる事ができました。大蛇ヶ原では鎖の柵をつたいながら岩場の先端まで行ったものの、ここも霧で迫力満点の景観は見られませんでした。後はわりに長い下りがつづいてシオカラ谷に着き、清流を眺めながら吊橋を渡りました。橋を渡るとゴールの駐

車場までは上りです。シオカラ谷まで降りると標高は約 1,350m で、そこからビジターセンターの大台ヶ原駐車場は 1,573m なので、220m ほど登り返すことになり、ラストの頑張りが必要でした。要所、要所に案内板があり、動植物の解説など読みつつ、まだまだと諦めていた紅葉も眺めることができ、一足早く秋を満喫できて得した気分でした。

(記：中昌子)

※参考情報

- ・台風 21 号の影響で倒木が多く見られたが、通れるように山道が整備されていた。
- ・シーズンになると、駐車場はすぐに満車になる。



## 室内例会だより

【日 時】2018年9月26日(水) 19:30～20:30 事務所

【出席者】藤井、田中悦、島崎、田中初、村田、勝尾、橋本、中、杉森、岩田、谷、都築(記録)

### 1. 山行計画

10月14日(日) 例会山行1 台高山脈《大台ヶ原・日出ヶ岳》1,695m……………L 中

10月28日(日) 例会山行2 奈良県連交流山行(担当:オオヤマレンゲ山の会)

奈良北部《柳生街道・滝坂の道》……………L 野路

11月11日(日) 例会山行1 公開山行 金剛山地《二上山》517m……………L 橋本

### 2. 山行報告

8月15日～19日 自主山行 北アルプス常念山脈縦走《中房温泉～燕岳～大天井岳～

常念岳～蝶ヶ岳～大滝山～徳本峠～上高地》L 亀高……………3名

### 3. 連絡その他

#### ★本会より

- ・暑気払い:9月16日(日)17:00～「や台ずし」にて参加者10名(男性6名、女性4名)、会費4,000円にて開催。会として親睦になりました。お世話いただいた林さん、ありがとうございました。
- ・テント泊山行の件については、運営委員会で検討する必要がありますが、本議題に関しては、委員全員にメールによって意見を問い、議決することとします。(後日島崎会長よりメールがあります。)
- ・労山山岳事故対策基金の参加申込金(継続)については、10名の方からいただいておりますが、まだの方も後日の室内例会で構いませんのでよろしくお願いいたします。
- ・室内例会に谷さんが参加されました。会員になられましたらよろしくお願いいたします。

以上

# 西大和つうしん

第 437 号 (2018 年 11 月号)

2018 年 10 月 31 日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 亀高 茂

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会  
〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32  
窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

[http : //www.nishiyamatoyama.info/](http://www.nishiyamatoyama.info/)